

令和8年2月16日(月)
令和7年度 東京都発達障害者支援地域協議会

令和7年度

東京都成人期発達障害専門医療機関ネットワーク構築事業 活動報告

- ①専門人材育成・実地研修
- ②情報収集・提供
- ③ネットワーク構築・運営



①-1. 専門人材育成研修・実地研修 ※ハイブリッド開催

2 すべてハイブリッドで開催だが、オンライン参加者が7~8割を占める/★:正夢の会さんの研修日程と重複

開催日	内容	講師 敬称略	参加総数
8月24日(日)	厚生労働省発達障害支援施策からみる医療と福祉の連携	加藤 永歳(社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会事務局次長・元厚生労働省発達障害対策専門官・公認心理師)	30機関 41名
	発達障害専門外来の現状と課題	加藤 進昌 (公益財団法人神経研究所 理事長・精神科医)	(医師18名)
9月21日(日)	限局性学習症：臨床事例を中心に	丹治 和世 (公益財団法人神経研究所附属晴和病院 副院長・精神科医)	23機関 29名
	発達性ディスレクシアの生物学的原因、大脳機能障害部位、認知障害、診断評価から合理的配慮へ	宇野 彰 (NPO法人LD Dyslexiaセンター理事長・元筑波大学教授・医学博士・言語聴覚士)	(医師11名)
10月19日(日)	ASDにおける語用論の特徴	沖村 宰 (昭和医科大学 発達障害医療研究所 講師・精神科医)	19機関 25名
	計算論的視点からみた神経発達症の理解と支援	山下 祐一 (国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 疾病研究第七部 精神科医)	(医師11名)
11月23日(祝)	ASDとカモフラージュ	当事者	18機関 26名
	社会的カモフラージュ/ACAT 成人期への応用	大島 郁葉 (千葉大学子どものこころの発達教育研究センター教授)	(医師13名)
12月14日(日)	発達障害専門デイケアを導入して ～開業医の立場から～	後藤 健文 (後藤クリニック 院長)	16機関 22名 (医師6名)

③ネットワーク運営・構築

7 地区拠点ネットワークの状況

都内医療機関ネットワーク構築のキッカケづくり研修を企画中

<診療体制検討協議会>

- 第1回:令和7年5月26日(月) 18:30~19:30 オンライン開催
- ・出席機関:東京都福祉保健局、公益財団法人神経研究所(都拠点)、医療法人社団草思会錦糸町クボタクリニック(区部拠点)、特定医療法人研精会稲城台病院(多摩地区拠点)、成人発達障害支援学会(オブザーバー)
- ・議題:令和7年度研修等実施計画、地域の成人発達障害診療・支援情報共有、発達検査体制整備支援事業の情報共有、専門外来定義・医療機関調査項目等の検討
- 第2回:令和8年3月で調整予定

<区部圏域連絡会・研修会> 主催:区部拠点医療機関

- 第1回圏域連絡会
令和7年8月18日(日) 13:00~14:30
- 圏域研修会・第2回圏域連絡会
令和8年1月25日(日) 13:30~15:00、15:30~16:30
柘屋二郎先生「発達障害ケースにおいて幼少期逆境体験が成人期にどう影響するのか〜発達障害の二次的三時的障害を防ぐために〜」

<多摩地区圏域連絡会・研修会> 主催:多摩地区拠点医療機関

- 第1回圏域連絡会
令和7年9月6日(土) 13:00~14:30
- 圏域研修会・第2回圏域連絡会
令和8年2月11日(祝) 9:30~11:00、11:30~12:30
小淵千絵先生「発達障害と聴覚〜Lid/APDを中心〜」

中間総括

8

・専門人材育成では、オンサイト参加された医師が専門外来への陪席につながり、またその先生が他の医師を紹介されるといった効果があり、オンサイト開催の意義を再確認した。

・初診待機状況では、発達障害を専門的に診ている医療機関の平均待機期間は43.7日であった。しかし、特定日に予約を受ける(初診日は予約日の1~2か月後)医療機関もあり、特定日に必ず予約が取れるわけでもないため、正確な実態を反映しているとは考えにくい。

・一方で、発達障害診療に携わっていると認識する医療機関の回答数は上昇傾向にあり、回答があった医療機関では21.8日の待機期間であった。地域の医療機関で発達障害への対応の拡がりはあるものと考えられる。今後の課題としては、いかに専門外来につながられるか、その待機を解消するために地域で対応する医療機関に戻せるか、支援ができるかという視点で検討をしていくことが現実的と考える。次年度の専門人材育成研修には、この視点を継続して持ち、研修内容を検討していきたい。